

令和 7 年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 8 年 4 月 30 日

団体所在地 広島市西区福島町 2 丁目 24-48
団体の名称 社会福祉法人みどり会
職・氏名 理事長 杉川 綾
(施設名 みどりの森みらいこども園)

1 活動報告

【4 月～6 月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・園外保育(山あそび、自然散策、自然物採集)
- ・栽培活動(さつまいも、夏野菜、藍、花(あさがお、ひまわり)、等)
- ・虫、花、自然物にふれる

【7 月～9 月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・園外保育(竹取り、海辺・川遊び 等)
- ・雨あそび
- ・水、泥、氷あそび
- ・自然物を使った染め物活動
- ・感触あそび
- ・虫や生き物のお世話

【10 月～12 月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・園外保育(山あそび、自然散策、自然物採集)
- ・自然物を使った製作活動
- ・栽培活動、お世話
- ・門松づくり
- ・焼き芋会(苗植え、世話、収穫、準備 含む)

【1 月～3 月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・園外活動(山あそび、自然散策、自然物採集、山登り 等)
- ・雪あび
- ・氷実験

活動報告（詳細）

1 シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

6月、園庭でツマグロヒョウモンの幼虫を見つけた3歳児クラスの子どもたちが、“つまちゃん”と名前を付けて飼育を始めた。飼育を始めてから、園庭や園外散歩ではますます虫に興味を抱くだけでなく、見つけた虫を友だちと見せ合う時に「そおーっとよ」と虫との関わり方に変化が見られるようになった。虫かごの中でさなぎになっているのを見つけた時は「すごいすごい！！」と興奮し喜んでいたが、さなぎにまだなっていないツマグロヒョウモンも数匹残っているのを見て「虫かご掃除しないと死んじゃう」と子どもたち自身が虫かごをきれいに洗ったり、新しい葉っぱやパンジーに入れ替えたりしていた。さなぎが蝶々になると、愛おしそうに掌や指の上にのせ、名残惜しそうにお別れしていた。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

今年の夏も酷暑が続き、涼を求め、連日古川にバスで出かけ、せせらぎ公園の河川敷や古川で、生き物探しに熱中したり川で水遊びを楽しんだ。

園で親しんでいるプールと違って、川には一定の流れがあることに気づき、川上から川下へプカプカと体を浮かせて流れにのったり、友だち同士で手をつないで輪になって一緒に流れたり、川の流れに体を預けて遊ぶ楽しさを味わっていた。

川では急に水位が深くなる場所や、流れが速くなることを事前に伝えていたので、決められた範囲の中で川上と川下を何度も繰り返し行き来しながら、友だちと開放的な表情で存分に遊ぶ姿があった。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

年長に進級した春、「今年の染めT(シャツ)は絶対青がいい!」との子どもたちの声から、藍の苗を購入に行き、プランターへ植え、水やり等のお世話をおこなった。夏に青々と育った葉っぱを摘み、自分たちの手で揉んだものに、Tシャツを漬け込み染め、きれいな藍色に染まったことを皆で喜んでいいた。お揃いの藍染めTシャツを着て、運動会に参加後、まだ藍染の葉っぱが残っていたことから、子どもたちと話し合い、以前行った叩き染めをもう一度やってみることになった。自分で葉っぱの位置を決め、デザインや構成を考えながらバンダナ作りに挑戦していた。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

気温が低くなり、園庭で氷を作ったり、雪が積もった日は雪の冷たさや柔らかさに触れたりすることを喜び、雪遊びに出かける日を楽しみにしていた。

バスで出かけたもみの木森林公園は、一面銀世界で「すごい!めっちゃ雪がある!」「早く遊びたい!」と子どもたちの期待感も高まる中で、雪合戦・ソリ滑り・バケツを使った造形物づくりなど、全身を使って雪遊びを楽しむ姿があった。公園内の雪が硬かったのか、雪によって“サラサラ”“硬い”等感触の違いがあることに気づいたり、ソリの扱い方では、安全な使い方を学び得たりしていた。保育者間で連携をとりながら、安全かつ存分に雪遊びを楽しむように努めた。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

（例）こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）

○自然保育研修の参加（9月、11月）

○自然保育アドバイザーによるフォローアップ研修、質疑応答や自然保育の実践向上のための相談（9月）

- ・ 地域との関わりについて

（例）専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）

○緑化活動において、必要な花の苗や苗木を地域の方からいただき、子どもと一緒に育てた。

- ・ 保護者との関わりについて

（例）果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）

○保護者交流会等で、保護者が園外活動を共に体験し、直接自然にふれて楽しめる機会を設けた。

- ・ その他

*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

U R L	園 HP 「 https://midori-kai.or.jp/midorinomori/mirai/ 」
	園 ブログ 「 https://midori-mirai.jugem.jp/ 」